



LES AMANTS DU PONT-NEUF

ポンヌフの恋人 4K

シネマ・デ・アエル マンスリーセレクト上映作品 #2
『ポンヌフの恋人』4K —1991. 仏. 監督:レオス・カラックス

© 1991 STUDIOCANAL - France 2 Cinéma

2026 10/17 SAT, 10/18 SUN

愛はふたりを、
世界から追い出した。



MAUVAIS SANG

汚れた血 4K

シネマ・デ・アエル マンスリーセレクト上映作品 #1
『汚れた血』4K —1986. 仏. 監督:レオス・カラックス

© Théo Film

2026 10/17 SAT, 10/18 SUN

走る。
世界が終わる、その前に。

問い合わせ

tel: 090-8582-4940 (シネマ・デ・アエル プロジェクト)
cinema.de.aeru@gmail.com

主催:シネマ・デ・アエル プロジェクト／共催:三陸みらいシネマパートナーズ、有限会社コンテンツ計画、NE-PROJECTION／後援:宮古市、宮古市教育委員会／特別協力:東屋不動産

CONCEPT

シネマ・デ・アエルは岩手県宮古市の築約 200 年の元酒蔵(国登録有形文化財:旧東屋酒造店)をセルフリノベーションした“特設”のコミュニティシアターです。上映・音響設備、グランドピアノ、カフェラウンジ、ブックコーナー、軒下オーブンスペースを完備し、シアタースペースでの定期・企画上映のほか、文化・交流プログラムを実施しています。ご利用、連携企画のお問い合わせは cinema.de.aeru@gmail.com まで。プロジェクトメンバーも随時募集中!

本事業は宮古市元気な地域づくり補助金の助成を受けています。

ACCESS

シネマ・デ・アエル
(東屋さんの「蔵」—国登録有形文化財:旧東屋酒造店)

〒027-0089
岩手県宮古市本町 2-2

お車でご来場の方へ

東屋駐車場、または近隣駐車場をご利用ください。
上映会や関連プログラムにご参加の方は東屋駐車場を無料(プログラム+1 時間まで)でご利用いただけます。スタッフがご案内する専用の駐車スペースをご利用下さい。



CINEMA DE AERU マンスリーセレクト

シネマ・デ・アエルの担当セレクトアーが厳選したおすすめ映画を毎月上映する定期プログラム。参加型のアフタートークや、ゲストプログラムなどお楽しみ企画と一緒にお届けします。



CINEMA DE AERU

映画で逢える 映画と出会う

2026. **10**



CINEMA DE AERU

映画で逢える 映画と出会う

2026. **10**



ジャンルを超えた映像革命 身体がスクリーンを疾走する

INTRODUCTION

愛のないセックスで感染する病「STB0」が蔓延する近未来のパリ。父の友人に犯罪へ誘われたアレックスは、その愛人アンナに惹かれてゆく。結ばれない男女の一方通行の愛を、鮮烈な色彩と凝り抜いた映像、疾走感あふれる編集で描くフィルム・ノワール。

デヴィッド・ボウイの「Modern Love」を背にドニ・ラヴァンが疾走する名場面など、映画史に刻まれるシーンも多数。弱冠25歳のカラックスが、その才能を決定づけた長編第2作。

ここがおすすめ

『汚れた血』も『ポンヌフの恋人』も、主人公の名はアレックス。監督レオス・カラックスの本名です。映画に自身の分身を送り込み、カラックスは映画を作っています。この分身は饒舌ではない。代わりに身体を言葉のように駆使します。走り、踊り、旋回し、火を吹き、皮膚を裂き、指を銃で撃ち抜く。

両作とも、孤独と虚無の底にいたアレックスが愛を幻視し、愛を失うことへの恐れを描いています。失わないためにアレックスはアクロバティックに身体を使う。その身体性が、映画を宿命のように動かしていく。ヒロインを演じるのはジュリエット・ピノシュです。カラックスは『汚れた血』の撮影中にピノシュと恋に落ちています。そして二人の関係は『ポンヌフの恋人』で泥沼化し終焉を迎えています。

自身の分身で映画を作り、自身も恋に落ち、その関係もまるで映画のように破綻していく。カラックスは、自分自身が映画になってしまいました。『汚れた血』や『ポンヌフの恋人』は、彼の身体と不可分の映画です。

そんなわけで今月のプログラムは、身体をテーマに組んでみました。人々が身体性を失い、いよいよ社会が脳化に向かう愛なき時代に。愛を込めて。

(プロジェクトメンバー 岩田 和憲)

会場：シネマ・デ・アエル (東屋さんの「蔵」—国登録有形文化財:旧東屋酒造店) 〒027-0089 岩手県宮古市本町2-2

各回定員：30名 鑑賞料(各作品ごと)：一般 ¥1,500 / シニア(60歳以上)・学生・障害者(付添1名まで) ¥1,200 / 中学生以下 ¥1,000

チケット：先着順

2026 10/17 SAT, 10/18 SUN

監督・脚本：レオス・カラックス／撮影：ジャン＝イヴ・エスコフィエ／主演：ドニ・ラヴァン、ジュリエット・ピノシュ／美術：ミシェル・ヴァンデスティアン／1986年／フランス／原題：Mauvais sang／配給：ユーロスペース
© Théo Film

TIME TABLE

10.17 [土]

10:00–12:10 『ポンヌフの恋人』上映
12:10–12:40 涌田悠さん ゲストトーク
13:00–15:10 『汚れた血』上映
15:40–17:50 『ポンヌフの恋人』上映
18:20–20:30 『汚れた血』上映

感想シェアトークやってます

ゲスト参加回以外の上映後には、シネマ・デ・アエル名物の背景解説&感想シェアトーク(2、30分程度)を実施します。感じたこと、思いをぜひシェアしてください(参加自由です。聞いただけ参加も大歓迎!). 時にはサプライズゲストの登場も。

監督・脚本：レオス・カラックス／撮影：ジャン＝イヴ・エスコフィエ／主演：ドニ・ラヴァン、ジュリエット・ピノシュ／美術：ミシェル・ヴァンデスティアン／1991年／フランス／原題：Les amants du Pont-Neuf／配給：ユーロスペース
© 1991 STUDIOCANAL - France 2 Cinéma

10.18 [日]

10:00–12:10 『汚れた血』上映
12:40–14:50 『ポンヌフの恋人』上映
15:20–17:30 『汚れた血』上映
18:00–20:10 『ポンヌフの恋人』上映

INFO FROM THE THEATER シアターからの情報

みちのく潮風トレイル 〜トレイルオアシスに参加しました！

シネマ・デ・アエルは、みちのく潮風トレイルのハイカーを地域ぐるみで歓迎する取り組み「トレイルオアシス」(Trail Town MIYAKO) 協力店に参加しました。

「トレイルオアシス」は、“ハイカーにやさしいお店(施設)” のことで、宮古市内のトレイル沿線近辺にある店舗や施設が登録されています。

シネマ・デ・アエルでは、開館中、ハイカーのみなさんに携帯電話などの充電や、水の補給、ご休憩などにご利用いただけます。右のステッカーが目印となります。

トレイルオアシス (Trail Town MIYAKO トレイルタウンみやこ) の詳細は右のQRコードから。



目印のステッカー



詳細はこちら

deaceru SPOT

盛岡にある、もうひとつのポンヌフ

カフェド ポンヌフ

1989年創業の洋食喫茶。店名は、フレンチ修業時代の高橋シェフの師匠が名付けたもので、映画『ポンヌフの恋人』よりも先に生まれました。盛岡や東京のホテルで腕を磨いたシェフの料理を、気軽な喫茶店の雰囲気と味わえるのが魅力。この日いただいた豚肉のボービエットは、自家製生パン粉で作るサクサク衣に柔らかな豚ロースが印象的。ボリューム満点ながら950円という、驚きの一皿でした。



高橋シェフ



豚肉のボービエット

住所：岩手県盛岡市梨木町5-47 1F 定休日：なし(お盆、年末年始を除く)
電話番号：019-622-9423 営業時間：11:00～15:00、17:00～20:00

NEXT 次回のマンスリーセレクトは…

2026年 11.14(土)、15(日)を予定しています。

※ 企画・日時は予告なく変更となる場合もありますので、ご了承ください。



恋愛映画を突き破る 呪われた傑作

INTRODUCTION

天涯孤独の大道芸人アレックスと、失恋と失明の危機から家出した画学生ミシェル。ホームレスとなったふたりは、パリ最古の橋ポンヌフで出会う。愛を告白できないアレックスと、過去の初恋に生きるミシェル。失意と闇から始まったふたりの感情は、やがて希望と生命へと疾走していく。

度重なる撮影中断により完成まで3年、巨額の製作費を費やし、「呪われた映画」とまで呼ばれた作品だが、1991年の公開後、パリだけで26万人を動員、カラックス最大のヒット作となった。

革命200年を祝うパリを背景に、ほとばしる映像と音が、ふたりの愛を圧倒的なスペクタクルとして描き出す。



© 1991 STUDIOCANAL - France 2 Cinéma

最新情報はSNSと公式HPをチェック！

作品やゲストの最新情報などをご案内しています。



HP



Facebook



Instagram



X